

市議会 あんな話・こんな話

第10話

「議場の変遷」

歴史的な鹿児島市の初
議会は、第1回の当選議
員36人を迎えて、明治22

年5月9日に、当時、易
居町にあった名山小学校
で開かれました。その後
議場は、市庁舎として使
用していた県の所有する
興業館（現在の県立博物
館考古資料館）や明治25
年に完成した旧市庁舎
（現在の市立美術館の土
地にあった）に置かれて
いました。

昭和初期になると、旧
市庁舎内の議場は、風雨
やシロアリなどで老朽化
が進み、危険で使用でき

なくなったことから、公
会堂や商工会議所に移り
ました。「まるで渡り鳥
じゃ」という議員もいた
そうです。

昭和9年に議会は市庁
舎建築委員を選任し、建
設に向けて本格的に取り
組み始めました。市側と
建築委員たちは、庁舎建
設の検討を重ね、その結
果、当時建設中だった国
会議事堂をモデルにする
こととし、大蔵省宮繕管
財局工務部による設計で、
昭和12年6月に現在の市
役所本館が完成しました。
なお、この建物は、平成
10年に国の登録有形文化
財に指定されています。



新築直後の市庁舎(昭和12年6月完成)

当初、本館にあった議
場は、その後、昭和42年
に市役所別館に移り、現
在に至っています。

今の議場は、現在建設
中の西別館（仮称）に來
年度移転します。新しく
なる議場にも、ぜひ傍聴
にお越しください。